

1. 指定管理者名	社会福祉法人多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
3. 業務の範囲	(1)サンホーム滝呂の事業の実施に関する業務 (2)目的外使用許可にかかる事務 (3)サンホーム滝呂の使用許可業務 (4)サンホーム滝呂の維持管理に関する業務 (5)管理運営業務 (6)サンホーム滝呂の管理運営に必要な業務

4. 採点表

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1 運営・利用状況 (40点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	-	<p>平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点</p> <p>平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3)</p>	<p>平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。</p> <p>(1)指定管理期間1年目前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値</p>	<p>【老人福祉センター】 開館時間中(9:00～17:00)は、自由来館 【児童センター】 開館時間中(10:00～18:00)は、自由来館</p>	
		(1)利用状況 (10点)	10	<p>平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点</p> <p>(2)に該当 (H30年度利用人数÷H28～29年度の平均利用人数×100)</p> <p>①老人センター 26,781÷27,140≒99% ②児童センター 13,536÷13,586≒100% ③その他 706÷994≒71% 全体 41,023÷41,720=98% 地域の組織・団体と連携しアンケート調査、企画等に地域全体で協力していただき、課題分析と課題解決に取り組み次年度の利用者拡大を図る。</p>	<p>【当該評価年の前の年の利用人数平均値】 老人福祉センター H28 27,604人 H29 26,676人 平均 27,140人 児童センター H28 14,612人 H29 12,560人 平均 13,586人 その他 H28 1,023人 H29 965人 平均 994人 平均合計 41,720人</p> <p>【施設管理】 小学校の施設参加行事が、台風や川の増水などで中止になりその他の利用が減少。滝呂地域以外の周辺地域の地域組織やサロン事業などに積極的に参加し利用促進PRを行っている。 【老人福祉センター】 個人利用者は、滝呂地域、滝呂地域以外の移動老人センターや地域組織の会合でPRしたことにより昨年度と比較し増加した。若年層や男性の利用登録が増えてきている。 調査で希望が多い教室を単発で行い、好評な内容を教室にして利用者の確保に努めている。 【児童センター】 地域組織や学校と連携し、地域行事の参加や児童による校内放送を実施して児童センター事業のPRに努めた。また、児童の要望に合わせたクラブに変更した結果、定員を超える応募があり好評であった。 運営委員会の協力があり、地域の公園での調査、利用者の地域別統計調査をもとに分析し事業展開を地域組織と一体となって利用者の拡大に取り組んでいる。</p>	8点
	②利用人数	15	<p>仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点</p>	<p>【老人福祉センター】 別紙「事業評価表」のとおり。 12点 【児童センター】 別紙「事業評価表」別紙のとおり。 14点 平均 13点</p>	<p>仕様書以上 13点</p> <p>【老人福祉センター】 仕様書以上に実施。いきがいつくり、教養講座運営事業では、男性が参加しやすい内容を選定し新規の男性利用者が増加した。教室の成果の発表の場を作ることにより、目標を持って取り組むことができている。自立生活維持支援事業では、運動に加え、美容も取り入れ、また、内容により単発での参加も受け入れるなど工夫し楽しみながらの健康づくりができている。新規の老後安心講座は高齢者の不安をテーマにしており参加者から好評である。多世代交流事業はスポーツから季節行事など利用者は交流を楽しみにしており、複合施設の特徴を大いに活かす事ができている。 【児童センター】 仕様書以上に実施。乳幼児クラブでは、父親の育児参加を促す企画をして継続で参加されている。多様なボランティア活動で募集し、多くの児童が参加。複合館であることの利点を活かし高齢者と触れ合う機会を多く設け、乳幼児親子から、若い世代の高齢者、デイサービスの利用者との交流を行った。様々な行事には自治会、民生児童委員、まちづくり市民会議、学校など地域関係者も多く参加され、運営委員会では活発な意見交換がされており地域全体で応援されている。</p>	13点
(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)	15	<p>内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点</p>	<p>【老人福祉センター】 別紙「事業評価表」のとおり。 13点 【児童センター】 別紙「事業評価表」別紙のとおり。 15点 平均 14点</p>	<p>期待以上 14点</p> <p>【老人福祉センター】 アンケートや利用者の聞き取りにて開催希望のあったものを単発教室として実施。好評なものは教室にランクアップするなど、利用者の希望に添った企画・運営を行い、次の段階に繋げている。 教室の受け皿としてのクラブ、サークルは交流の場となっており住民同士が繋がっている。 【児童センター】 多様化するニーズ把握のため、日々来館者へ口頭及びアンケートによる調査を実施し、調査結果をもとに実施可能な事業に関しては直ぐに実施。要望を取り入れた事業を速やかに実施することで来館者から高評価を得るとともに、当センターに対する信頼感が深まったと考えられる。若い高齢者世代の卓球、デイサービスの利用者が多く参加する季節行事、乳幼児親子から参加する運動会など、多くの方が参加できる多世代の交流を行った。障がいをお持ちの児童の交流サロン、集団活動に不安を持たれる乳幼児親子への活動の場の提供は継続して実施し多くの利用者が参加している。</p>	14点	

2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	通常清掃 毎日実施 定期清掃 床清掃を業務委託により年2回実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検		定期点検を業務委託により以下のとおり実施 空調設備(年2回)、ボイラー(年1回)、消防用設備(年2回)、エレベーター(月1回)、トイレ警報(年2回)、地下重油タンク(年1回)、自動ドア(年2回)、遊具器具安全点検(年3回)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備		夜間機械警備(毎日)、電気保安(毎日)業務委託	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕		【施設管理】 ①トイレ水詰まり修繕2件、②トイレレバー修繕、③倉庫感知器取替修繕、 ④2階玄関前床修復、⑤エレベーター法定箇所修繕、⑥トイレタンク修繕、⑦誘導灯本体取替修繕、⑧ラインポンプ修繕 ⑨電灯LED交換 【老人福祉センター】 ①浴室換気扇取替修繕、②浴室引き戸修繕 【児童センター】 ①2階遊戯室硝子修繕2回 ②卓球台修繕	適正(普通) 2点	修繕が発生した場合は速やかに対応した。	
			⑤危険箇所の把握 (施設の瑕疵)		職員による安全点検・業者による遊具の点検	適正(普通) 2点	日常の業務の中で危険箇所を把握し危険箇所があった場合は速やかに対応した。	
	(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	市の文書管理方法(ファイリングシステム)に準じ適正に管理	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
		②環境への配慮		・市の環境方針に準じて対応。省エネを念頭に市のエネルギー使用量調査に対応 ・2月に1回、施設周辺の清掃を全職員の輪番により始業時間前に実施 ・その他、業務時間外でも節電の徹底、メール利用により紙の使用量を削減、資源ごみリサイクルの実施、裏紙使用の徹底、葦簀による日除け、水やりなどの暑さ対策などに取り組み光熱費の削減 ・ハチやムカデ、蛇の発生時等危険を発見した時は掲示物の作成、声かけ等により注意喚起をする。利用者に危険を回避できるように、危険箇所を発見した時は迅速に注意喚起を行っている。また、不審者をみた児童の情報を基に警察と連携し早期の情報共有・見回り強化などを行っている。	適正(普通) 2点	利用者が危険を回避できるように、危険箇所を発見した時は迅速に注意喚起を行っている。また、不審者情報は早期に警察と連携し対応している。		
		③バリアフリー		・施設内のバリアフリー化。障がい者用トイレ、洋式トイレ、手すり、自動ドア、エレベーター、身障者用駐車場の設置 ・車椅子利用者、視覚障がい者等の通行の支障にならないよう備品等を配置 ・歩行介助の方法について従事者向けの研修を実施 ・認知症の高齢者の方が迷わないようにトイレ、玄関等を館内に表示	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 認知症の方や身体障がいをお持ちの方が施設に不安なく利用できるように表示をしたり職員が歩行介助研修を行ったりなど安心して利用できるように努めている。		
		④備品管理		毎年、備品台帳を修正し管理	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤個人情報保護		多治見市社会福祉協議会の「個人情報保護管理規程」により個人情報記載書類は鍵のかかるキャビネットに適正に管理	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等への対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故の発生はなかった。	事故なし・対応に不備なし 0点	事故はなし。			
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	【事業収支】(H30年度収入÷H30年度支出×100) 39,395,347÷36,323,914×100=108.45% 電気代、水道代では、節電・節水等に心がけ、消耗品なども経費節減に努めている。 〈参考〉 【施設】22,679,000÷18,104,904×100=125.3% 【老人】7,876,180÷9,726,462×100=81% 【児童】8,840,310÷8,492,548×100=104.1%	105%以上 5点	【施設管理・事業全体】 電気代、水道代では、節電・節水等に心がけ、事業全体では大幅に黒字となっている。	5点
4	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	【施設管理】 ・アンケートボックスを常設し、随時意見を受け付け、意見があれば回答も公表している。 【老人福祉センター・児童センター】 ・教室・クラブ等の際にアンケートを実施するほか、来館者へ口頭でのニーズ把握を行っている。 ・移動児童センター、老人センターにおいてもニーズ調査を実施している。 ・自治会協力のもと、公園で遊んでいる児童にニーズ把握を行っている。 アンケートでは、事業の期間、内容、新規事業の提案、センターの認知度などの回答を得て、30年度の事業の見直し、次年度事業の取入れに活かしている。 児童センターの運営委員会が調査報告を行い地域の関係者と連携し事業を計画している。	期待以上 8点	アンケートや聞き取りの結果を事業に活かし、利用者の希望に沿った新しい企画運営を実施した。	8点
		②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし。苦情申し出窓口を設置し、苦情対応責任者・苦情受付担当・第三者委員会を設けている。	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情に常時対応可能な体制がとられ、適正に実施されている。	4点
	(2)より良い施設運営のための取組 (30点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	【施設管理】地域に親しまれ、憩いの場所になるように、お祭りや季節に合わせた多世代交流会を自治会や民生児童委員、主任児童委員、福祉委員、小学校、中学校、保育園、多悠連等と案内から企画、実施まで連携して開催している。 滝呂校区以外の周辺の多悠連、民生児童委員、サロンで事業PRを行った。 施設内の地域包括支援センターやデイサービス、ヘルパーなどの事業もセンター行事に参加し、福祉事業の理解の促進、来館者の相談対応等地域の福祉の拠点となるように努めている。 ボランティアの促進として、ボランティア情報の掲示やベルマーク・古切手の募集を広報紙で呼びかけ多くの方から協力していただいた。 【老人センター】サロン活動実践や地域福祉協議会などと協力を得て養正や市之倉、笠原地域の活動に参加し利用方法、教室の案内を行った。合わせて、多悠連や民生児童委員の会合で教室を紹介した。滝呂以外の地域からは若い男性の参加者が増えている。 多世代事業では、高齢者世帯やひとり暮らしの高齢者の利用者と児童・親が季節行事を通して楽しく交流していただいている。 快適にお風呂に入っただけのように浴室の外に地域住民の協力により灯籠を設置して景観を良くするように努めた。 【児童センター】行事には、ボランティアの参加を促し、地元の中学生には学校の協力を得てボランティアを募り多くの中学生が参加している。中学生には福祉教育の一環として、始まる前にボランティアのオリエンテーションを行いボランティアの関心を高めている。毎月1回程度、保育園・幼稚園・小学校・当該区(29・38・40区)区長・運営委員宛に児童センター便りを配布し、園帰り及び下校後の来館者の確保や当センターの周知啓発、透明化に努めている。	期待以上 13点	駐車場が少なく、イベント、教室等の参加者が多い際には、周辺が混雑するため、職員が外に出て誘導を行うなど安全面の配慮をしている。 複合施設や社会福祉協議会の特色を活かし、関係機関と連携し、季節に応じた、児童と高齢者の共催事業、地域交流事業を多数企画し実施している。交流の機会を増やし、家族のような憩いの場になるような施設づくりを進めている。地域も拡大し参加者の増員を図っている。 ボランティア参加に力を入れ、中学生の児童指導の参加の呼びかけや、施設ボランティアの登録、ボランティア交流会、ベルマーク・古切手の募集活動など、多くの住民が参加・協力している。	13点

5 その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点
	(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	対応に問題なし	指示等なし・ 対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計85点
						全体的な評価 ・良好な管理がされている。 ・地域との連携やボランティア参加など施設運営は良好である。	極めて良好